

かみねっちょ新聞

平成31年2月号

～あなたの知らない飼育員の世界～



クロサイ

分類：奇蹄目 サイ科

生息地：アフリカ中南部

基本単独で草原や
やぶで暮らしている

食べ物：主に木の葉、枝

三角形にとがった
上唇を器用に使って
枝葉をつかみ取って
食べる

体重：900～1350 kg

サイってほんとうに優しい

野生のクロサイはちょっと気性が荒い、なんて言われています。単独生活者で強い縄張り意識があること、視力が良くないこともあり、神経が細やかなところはありますね。肉食動物や悪い人間もいる厳しい野生の暮らしの中では、そのような一面もあるのだと思います。

しかし、うちのメトロくんとマキさん（二頭とも動物園生まれで同い年の28才）は、めちゃくちゃおっとり穏やかな性格。本当に本当に二頭とも優しい。平和な安定した暮らしの中では、こんなにやさしくなれるんだなあと感じます。人間とも良い信頼関係を築くことができ、相手に合わせた行動や力加減もできるとても賢い動物なんです。

サイ大ピンチ

サイの角は漢方薬として万病に効くとか不老長寿になるなどと信じられていて、とっても高値で取引されています。（人の髪の毛や爪と同じケラチンという成分でできているため薬効はないとされています）角を狙った乱獲により1960年頃には10万頭いたといわれていますが、あっという間に約95%が減少してしまっています。アジアの富裕層の需要があるため、密猟は後を絶たず絶滅の危機にたたされています。



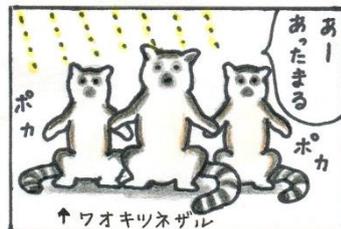
飯田獣医のつぶやき



『はちゅうい館』1階の大きな水槽の下を見ると、カミツキガメがいます。このカミツキガメは、『はちゅうい館』がオープンする

ずーっと前から『かみね』にいました。何と！平成18年7月3日から『かみね』にいたのです。ざっと、12年間も『かみね』で飼育されていました。でも、みなさんは見たことがなかったはず。バックヤードにいたため展示されていませんでした。実は、このカミツキガメは展示目的で『かみね』に入ってきたわけではなく、警察が拾得物として保護した動物で、行き場がなく引き取った動物です。現在、『かみね』ではペットである動物は引き取ってはいません。このようなかわいそうな動物たちを作らないためにも、ペットは最後まで責任を持って飼いましょう！

かみね動物園 飯田



* たいおんちゅうせつ にかいて 1体通飼育が苦手のキツネザルたち。そんぞい、あたたまりかたがあるそうです。

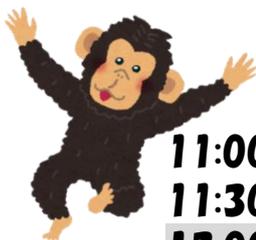
3月の予定

- ☆どうぶつ総選挙(は虫類バージョン) 2日~17日
- ☆ライオン・愛称きぼう 誕生会 17日
- ☆園長ガイド 17日
- 詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>
- または 0294(22)5586 までお問い合わせください



もぐもぐタイムの時間

注意：時間変更・中止になる場合もございます。



(平日)

- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- ウミウ
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:15 ライオン
- 15:30 ペンギン



(土日祝)

- 10:00 ソウ
- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- ウミウ
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:00 ポニー・シマウマ
- 15:15 ライオン
- 15:30 ペンギン



※ ヘビとのふれあいは、土日祝日の 11:00~12:00 はちゅうい館です。
 ※ 水曜日のソウ・エゾヒグマのおやつタイムはお休みします。

■ は見学のみ